

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 「難治性免疫・アレルギー疾患の病態の 解明と新規治療法の開発」(S1511014) 令和元年度報告会

【日時】

令和2年2月29日(土) 14:00~17:00

【会場】

日本大学医学部

リサーチセンター4階ホール (東京都板橋区大谷口上町30-1)

【参加教室およびプロジェクトチーム】

日本大学医学部 総合医学研究所(免疫・アレルギー学グループ)

日本大学医学部 血液膠原病内科, 呼吸器内科, 整形外科, 皮膚科, 医学教育センター,
免疫・アレルギー学プロジェクトチーム

日本大学医学部附属板橋病院 アレルギーセンター

【演題】

- 関節骨びらんを引き起こす破骨細胞の異常分化・活性化へのEpstein-Barrウイルス(EBV)の関与 (血液膠原病内科 岩田光浩)
- 当院で治療を行った血管内B細胞性リンパ腫17例における臨床的, 病理学的特徴 (血液膠原病内科 高橋宏通)
- 関節リウマチ(RA)と変形性膝関節症(OA)患者の膝関節滑液中の脂質メディエーターの網羅的比較解析 (整形外科, アレルギーセンター 佐野有隆)
- IgE依存性に活性化したヒトマスト細胞が遊離する細胞外小胞中のmiR103a-3pは, PRMT5の発現を抑制することで, IL-33刺激による2型自然リンパ球からのIL-5産生を増強させる (医学教育センター, アレルギーセンター 豊島翔太)
- 慢性蕁麻疹(CSU)患者は抗IgE自己抗体による高親和性IgE受容体(FcεRI)架橋能が健常人に比べ高い (皮膚科, アレルギーセンター 伊崎聡志)
- 慢性特発性蕁麻疹患者に対するシクロスポリンの治療効果を予測するバイオマーカーの同定 (皮膚科, アレルギーセンター 遠藤嵩大)
- リピドミクスを用いた慢性特発性蕁麻疹(CSU)およびアトピー性皮膚炎(AD)の脂質メディエーターのプロファイル (皮膚科, アレルギーセンター 田杭真帆)
- ヒト化マウスを用いた難治性喘息モデルの開発(呼吸器内科, アレルギーセンター 山田志保)
- ダニアレルギー(HDM)によるマウス喘息モデルでのangiotensin-converting enzyme 2(ACE2)の役割 (呼吸器内科, アレルギーセンター 福田麻佐美)

【問合せ先】日本大学医学部 皮膚科学分野 TEL:03-3972-8111(内線:2502)